

空間プロデュースに国産材や森林認証材等を利活用する
「フェアウッド・プロジェクト」を加速化

ディスプレイ業界全体での合法伐採木材等の活用機会拡大を目的に啓蒙活動を強化
啓蒙冊子「木質空間デザイン・アプローチブック」制作に参画・公開

乃村工藝社グループでは、商業施設、博物館、展示会等の空間における企画・コンサルティングから、デザイン・設計、制作・施工、運営管理までの総合的なソリューションを提供する事業活動において、国産材や森林認証材等を利活用する「フェアウッド・プロジェクト」の活動をさらに加速させていきます。林産業の自律的な経済活動や日本の森の保護・成長に貢献するとともに、“空間創造活性化×生産者・作り手のネットワーク”を活かし、多様なステークホルダーの皆さまに喜びと感動をもたらす、公益と事業益を両立した場づくりに取り組みます。

1. 社会的背景

日本は国土の約 2/3 を森林が占める世界でも有数の森林大国。その約 4 割が人口林（スギ、ヒノキ等）で、多くが伐期を迎えており、国産材の利活用を進め、山元はその利益を還元し、持続可能な林業経営や森林の公益的機能の発揮を実現する必要があります。一方、世界的には違法伐採が依然問題になっており、違法に伐採された木材の利用による、森林破壊等につながる可能性があります。違法伐採木材を日本市場から減らしていくことを目的に、2017 年 5 月には、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称「クリーンウッド法」）が施行されました。国産材をはじめとする合法伐採木材等を積極的に使用するとともに、地域への経済循環をつくることにより、森林資源と林業・木材産業の持続可能性を高めていくことができます。

2. 「フェアウッド・プロジェクト」について

乃村工藝社グループでは、事業活動を通して木材・木材製品を多く使用しています。森林を守るフェアウッド^{※1}（国産材や森林認証材等）の調達には当社グループの環境に対する社会的責任であると考え、国産材等の有効活用をお客様へ積極的に提案し、林産業の自律的な経済活動や日本の森の保護・成長に貢献することを目指しています。

乃村工藝社とグループ会社社員の約 50 名で構成される横断型組織「CSV 協議会」では、日々の業務活動において、公益と事業益を両立した視点でクライアントであるお客様に付加価値を提供できることを目指しています。

当協議会の「フェアウッド・プロジェクト」では、国産材や地域産材（消費地と距離が近い地域の木材）、信頼のある森林認証（FSC・PEFC・SGEC など）を受けた木材など、環境に配慮した木材製品を積極的に使用していくために、「フェアウッド応援宣言（ノムラ木材調達ガイドライン）」を 2010 年に策定。以後、業界全体・社員・各種関連団体に向けた啓蒙活動をおこなうとともに、2017 年からは全国の地域材による家具づくりで実績のある株式会社ワイス・ワイスと協働を開始しています。

【1】フェアウッド・プロジェクトの主な狙い

- ① 国産木材の価値向上、木材利用の好循環化への貢献（木材利用に関する出口づくり）
- ② 木材利用に関するコンプライアンス遵守と当社の国産材対応力向上
- ③ リーディングカンパニーとして内装・ディスプレイ業界における木材利活用の奨励

3. 新たな取り組みについて

出処の分かる木材利用を普及させていくためには、自社だけでなく、業界全体を巻き込んだ持続的な活動が必要と考えて以下のような「森とクリエイターをつなぐ取り組み」を行っていきます。

【1】「MOKU LOVE DESIGN ～木質空間デザイン・アプローチブック～」の制作に参画

今回新たに木材利用の拡大・関連産業の振興を目指して活動をしている「ウッドソリューション・ネットワーク（事務局：農林中央金庫）^{※2}の趣旨に共感し、クリエイターが木質空間の魅力を知っていただき合法伐採木材等を使って豊かな空間デザインを提案するための「MOKU LOVE DESIGN ～木質空間デザイン・アプローチブック～」の制作に参画、本アプローチブックが完成いたしました。「森の人とデザインを」をテーマに、森を訪ね、木や木材といった自然に寄り添って生きる職人との対話の中からデザインしていくことの魅力を伝える冊子で、イベントや関係団体を通じてクリエイターに配布し、業界全体でクリーンウッドの活用機会を増やすことを目的としています。



【2】業界全体に向けた勉強会、森とクリエイターをつなぐ体感ツアーの実施

また、社内外へのフェアウッドの啓発活動として、業界全体の活用機会を増やすため9月より当社グループの協力社への理解促進のための勉強会を定期的開催するほか、木材生産者を訪ね、森とクリエイターをつなぐ体感ツアーなどの活動も行なっていく予定です。

4. フェアウッド・プロジェクトの目標

乃村工芸社グループは、ディスプレイ業界のリーディングカンパニーとして以下の項目を「フェアウッド・プロジェクト」の目標に設定しています。国産材・森林認証材等の有効活用をお客様へ積極的に提案し、林産業の自律的な経済活動や日本の森の保護・成長に貢献することを目指しています。

【1】全体

- ① 当社グループの木材利用を将来的に100%フェアウッドにしていきます
- ② 全47都道府県を産地とする木材活用を可能とするサプライチェーン（ネットワーク）を構築していきます
- ③ 内装下地材として活用できる国産木材による合板・集成材の調達を達成していきます

【2】プロセス系

- ① 当社グループおよび協力社の木材利用状況の調査を行っています
- ② 主要サプライヤー（木工系協力社）への木材利用に関する教育を実施しています
- ③ 内装、ディスプレイ業界関連団体における発信活動を行っています

今後も、乃村工芸社グループはステークホルダーの皆さまと共に持続可能で魅力あふれる社会を目指して、社会課題を共有し一つずつ解決していきたいと考えております。また、当社グループの社会・文化活動を通し、当社の使命である「喜びと感動」を提供し続けてまいります。

※¹フェアウッドについて

フェアウッド・パートナーズ（一般財団法人地球・人間環境フォーラム、国際環境 NGO FoE Japan）が提唱している、伐採地の森林環境や地域社会に配慮した木材・木材製品のことで。

- 修理・再生した木製品【Reduce、Reuse】
- 違法伐採でない木材【合法材】
- 地域住民が自ら適切に森林管理している木材【コミュニティ材、フェアトレード】
- 信頼できる第三者機関の森林認証を受けた木材【森林認証材】
- 古材や廃材を再利用した木製品【Recycle】
- 近くの森林から生産された木材【国産材、顔の見える木材】

※²ウッドソリューション・ネットワーク（事務局：農林中央金庫）について

ウッドソリューション・ネットワーク（WSN）は、林業・木材産業に関連する企業・団体が構成され、山で木材が生産・加工され、建築物等に利用されるまでの各段階における各種課題解決を通じて、木材利用の拡大、関連産業の振興を目指して活動しています。

<乃村工芸社に関するお問い合わせ先>

株式会社乃村工芸社 コーポレート本部 広報部 担当：岡村
TEL：03-5962-4361 / MAIL：prs@nomura-g.jp
HP：<https://www.nomurakougei.co.jp/>

参考資料

1. 乃村工藝社グループの社会・文化活動について

乃村工藝社グループは“人間尊重に立脚し、新しい価値の創造によって、豊かな人間環境づくりに貢献する”ことを経営理念に掲げ、1892年の創業以来、120年以上お客様の喜びと感動を追い続けてきました。また、創業者は菊人形の大規模な演出装置を手掛け、花を育てる地域の産業と文化や娯楽をつなぎ、人と社会との関わりを大切にしてきました。現在は、当社グループならではの場づくりやものづくり、コトづくりに関わる社会・文化活動をおこなっています。

2. 乃村工藝社グループのCSV活動方針

【1】コンセプト「PLACE DESIGN FOR ALL」

私たちは多様なステークホルダーの皆さまに感動と共感をもたらす、公益と事業益を両立した場づくりに取り組んでまいります。（場を作ることによって様々なステークホルダーに良い影響を与える）

【2】考え方「三方よし」

- ①「事業者当社グループの提供する価値を買っていただき（BtoB）」
 - ②「事業者がその価値で消費者にサービスを提供し（BtoC）」
 - ③「事業者がその対価（効果）を得る」
- この一連の商売が ④「社会の課題を解決することになるビジネスモデルである」

【3】主なCSV活動内容

- ①フェアウッド・プロジェクト： 国産材や森林認証材等の利活用促進
- ②JAPAN VALUE PROJECT： 伝統工芸等の独自性が高い地域のものづくりを当社の空間創造に取入れ発信
- ③withU プロジェクト： すべての人（障がい者・高齢者・子ども）が主役になれる空間づくり
- ④ポップアップ建築プロジェクト： 簡易建築を活用した社会課題解決への取り組み

※当社は「一般社団法人 CSV 開発機構」に法人会員、理事として活動しています

3. フェアウッド応援宣言 ノムラ木材調達ガイドライン（2010年策定）

<https://www.nomurakougei.co.jp/corporate/environment/fairwood/>

<このような木材を積極的に使っていきます>

- ①国産材や地域産材（消費地と距離が近い地域の木材）
- ②信頼のある森林認証（FSC・PEFC・SGECなど）を受けた木材
- ③木廃材を原料とした木質建材（リサイクル材・リユース材）

<このような木材を確認していきます>

- ①絶滅が危惧されている樹種の木材
- ②合法的に伐採・生産・取引されたかどうか不明な木材
- ③原産地や樹種の不明な木材

<フェアウッド応援宣言に伴う活動>

- ①社員およびお取引先様に「ノムラ木材調達ガイドライン」の解説を行い、周知を図ります
- ②「極めてリスクの高いもの」、それらを代替できるものを調査し公表していきます
- ③「安全性が確認された」木材の調達先を調査し、社員およびお取引先様が、フェアウッドを入手しやすいよう、サポート体制を作ります

【様々な分野の国産材や森林認証材等の活用事例】（当社実績）

■三菱地所様「3×3 Lab Future」（2016年・東京都千代田区）

三菱地所様が所有し、業種業態の垣根を越えた交流・活動拠点として「一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」が、企画・運営されています。次世代の持続可能な社会の実現を目指し、その3要素である「環境」「経済」「社会」がギアのごとく噛み合うこと、会社でも自宅でもない「第3の場所～サードプレイス」から『3×3 Lab Future』と名付けられたこの施設では、さまざまなコミュニティが形成され、未来へつながるビジネスが創発されることを目的としています。

当社はデザイン・設計から、コンテンツ設計・制作、制作・展示施工までお手伝いし、オフィス設備の環境先進性を表現するスペースとして、内装素材・家具什器には、20種類以上*の国産材やリサイクル素材などを活用し、環境配慮の空間づくりを行いました。*種類とは、スギ、ヒノキ、カエデなどの樹種のこと

